

福岡小学校が「木材利用優良施設等コンクール」で 文部科学大臣賞を受賞しました

7月に完成した福岡小学校の新校舎が、令和5年度木材利用優良施設等コンクールの優良施設部門で文部科学大臣賞を受賞しました。

■受賞内容

令和5年度 木材利用優良施設等コンクール（優良施設部門） 文部科学大臣賞

■受賞施設

中津川市立福岡小学校

■受賞者

施主：中津川市

設計：株式会社石本建築事務所

施工：中島・岡山特定建設工事共同企業体

(その他施工業者)

電気・機械：ミリオン電工株式会社

木材調達：丸山木材ホールディングス株式会社

厨房機器：株式会社中西製作所

エレベータ：日本リフト工業株式会社

※建築主体工事の受注者である中島・岡山特定建設工事共同企業体が代表して受賞

■評価理由

中津川市は全国屈指の「ヒノキ」の産地であり、「東濃ヒノキをふんだんに活用」を本プロジェクトの大きなテーマに掲げ、木材の調達から製材まで地域経済の循環を意識しながら、地域材の積極的な活用に取り組んでいる。多目的広場には、4校統合の学校のシンボルとして寄付材の丸太をシンボリックに配置し、地域の誇りや親しみやすさを表現している。また、防耐火構造の工夫により、性能を担保しつつ、この地域の風景に相応しいデザイン性を両立していることも高く評価される。

■施設等概要

校舎：木造（一部鉄骨造）、建築面積 2,512.79 m²、延床面積 4,369.02 m²

屋内運動場：鉄筋コンクリート造、建築面積 815 m²、延床面積 990.17 m²

共同調理場：鉄骨造、配食数 1,200 食、建築面積 520 m²、延床面積 520.56 m²

部室棟：鉄骨造、延床面積 147.62 m²

受水槽ポンプ室：延床面積 7.50 m²

グラウンド：約 4,000 m²

児童数：289 人（令和5年9月時点）

■木材利用優良施設等コンクール

主催：木材利用推進中央協議会 会長 菅野 康則（スガノHD社長）

趣旨：国産材の需要拡大による山林をはじめとする地域経済の活性化、国際的な木材需要の逼迫への対応、脱炭素社会の実現に資する。

対象：優良施設部門と国産材利用推進部門の2部門 ※福岡小学校は優良施設部門（優良施設部門）

内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、農林水産大臣賞など特賞11点、その他優秀賞50点程度（優秀賞は50点又は応募数の5割のどちらか少ない方）

（国産材利用推進部門）

農林水産大臣賞、林野庁長官賞など5点程度

<木材利用推進中央協議会HPより>

文部科学大臣賞

中津川市立福岡小学校（岐阜県中津川市）



【施設概要】

中津川市は全国屈指の「ヒノキ」の産地であり、「東濃ヒノキをふんだんに活用」を本プロジェクトの大きなテーマに掲げ、木材の調達から製材まで地域経済の循環を意識しながら、地域材の積極的な活用に取組んでいる。

多目的広場には、4校統合の学校のシンボルとして寄付材の丸太をシンボリックに配置し、地域の誇りや親しみやすさを表現している。また、防耐火構造の工夫により、性能を担保しつつ、この地域の風景に相応しいデザイン性を両立していることも高く評価される。

施主	中津川市
設計	株式会社石本建築事務所
施工	中島・岡山特定建設工事共同企業体
主要構造	木造軸組工法、鉄骨造、鉄筋コンクリート造
延床面積	6,034.87㎡
主な使用樹種	ヒノキ、スギ

お問い合わせ先

教育委員会事務局 施設計画推進室 担当者：安江

電話：0573-66-1111（内線 4211）